

わくわく!ふくいっ子



R7.11.14 文責 福井小学校長 鶴本正道

ブロック人権教育研究会を開催

11月14日（金）に、福井中学校区ブロック人権教育研究会を本校で開催しました。各学年で人権に関わるテーマについて深く学び、考える貴重な時間となりました。

各学年の学習テーマと成果

- 1年生・・・人に思いやりをもって接することが、相手や自分の心の中を温かくすることに気づき思いやりを持って行動することの大切さを学習しました。
- 2年生・・・外見や能力に対する悪口が許されない行為であることを理解し、友達を大切にするすばらしさに共感。互いに認め合い、支え合える行動を学ぶことができました。
- 3年生・・・命は何事にも変えられない大切なものであり、それを支え、成長を見守る人への感謝を忘れず、自分の命を大切にしていけることを学びました。
- 4年生・・・いじめや差別が許されない行為であることを理解し、困っている人のために、どう行動すべきかを考えました。
- 5年生・・・いじめは絶対に許されないということを理解し、誰に対しても公正・公平に接することの大切さを学びました。
- 6年生・・・沾染一揆を起こした人々の思いや行動から、人間の尊厳を守ることの尊さに気付くとともに、差別に立ち向かうことの大切さやすばらしさを感じ取り、差別解消のために行動しようとする意欲を高めました。

どの学年においても、具体的な事柄を通して深く考えたことで、これらのテーマは単なる知識としてではなく、「自分事」として心に刻まれました。外見や能力に対する悪口がなぜ許されないのか、困っている仲間のために自分はどう行動すべきか、さらには歴史上の人々の行動から人間の尊厳を守ることの尊さを感じ取るなど、児童たちは自らの内面と深く向き合い、意欲的に学習に取り組みました。また、互いを認め合い、支え合える行動とは何か、公正・公平に接することの重要性とは何かを、児童一人ひとりが真剣に考えるいい機会となりました。

授業後の分科会では、福井中学校区内の保育園・小学校・中学校の先生方が集まり、ワールドカフェ方式で意見交換を行いました。上学年部会では「いじめ」と「沾染一揆」、下学年部会では「なかまづくり」と「命の教育」をテーマに、それぞれの立場で取り組んでいることを共有し、保・小・中の連携を深める貴重な機会となりました。今回の研究会での学びを、今後の日々の教育活動に活かし、子どもたちがより豊かな人間関係を築けるよう努めてまいります。

授業の様子



(1年生)



(2年生)



(4年生)



(3年生)



(5年生)



(6年生)